

2024年(令和6年)

第864号

編集及び発行人:

東京土建一般労働組合

杉並支部

杉並区高円寺南3-6-2

TEL(3313)1445

FAX(3313)7096

メール dokken-suginami@mx10.ttcn.ne.jp

定価1部50円(購読料は組合費を含む)

●建設業に働くみなさんの仕事とくらしを応援します



あけましておめでとうございます

新年の業務開始と休館

1月5日(金)は12時まで(午後は書記局四役合同会議のため閉館)、9日(火)より通常業務となります。

2月1日(木)は書記局会議のため終日閉館となります。

※土・日・祝日も閉館



人集めはいつの時代も大変、仲間になって一緒に頑張ろう



野辺 秀男 さん

1942年(昭和17年)1月3日生まれ(81才) 建具組合加入は1962年(昭和37年) 青年部長からはじまり支部常任執行委員、支部書記長、執行委員長を歴任



児玉 一史 さん

1993年(平成5年)12月2日生まれ(30才) サッシ組合加入は2016年(平成28年)5月1日 青年部長を28歳から務め、30歳定年制のため、今期で青年部を卒業

新春 元青年部長 対談 現青年部長

野辺秀男さんは、父親と兄が建具工で、父親が組合に加入していたため組合加入。一方、児玉一史さんは、就職先の事業主が組合に加入していたためそのまま組合加入。

では、青年部に出始めるきっかけとは何だったのか?時代は違っても青年部に対する思いとは?青年部の過去・現在・そして未来について、2人に語っていただきました。



青年部に 出始めたきっかけ

野辺: 青年部がダンスパーティーをやっているから参加してみたいか、といわれて参加したのがきっかけ。仕事終わって夜になるとヒマだった。部会に参加したら近所の知り合いが何人かいても、みんな年上で30歳から35歳くらいかな?この頃は、今の30歳定年制はなかった。

児玉: 僕の青年部加入のきっかけは、メーデーコレクション制作で、トラックにデコを積み込むのに人手がいるから手を貸してくれ、といわれて参加したのがきっかけです。青年部自体あるの知らなかったです。

野辺: メーデーのデモ行進は、表参道の坂を登るじゃない?若い女性たちが(自分たちが作ったデコを見て)ワーワー喜ぶのよ。

児玉: メーデーは当日の参加はなかなか難しいです。

野辺: 参加してなくても(メーデーが青年部の)きっかけになるんだな。

青年部会に参加して感じたこと

野辺: 初めて部会に参加した時は、やっぱりお互い警戒してた笑。見た目がイカつい奴も多し。

野辺: 仲間になると、そんなのはなくなるけどね。児玉: 野辺さんの時代も飲み会はたくさんありました?

野辺: 後日、おカミさんが支部事務所に来て換金していたよ。

野辺: 日雇い労働者の賃金は、当時240円だった。ニコヨンって知らない?我々の一日の手間は700円。手間があまりにも安すぎるので「手間を二日1,500円に上げる」と電柱にピラ貼りした。そして1,000円くらいに上がったんだよ。

今と昔の人集め

児玉: 今と昔の時代で圧倒的に違うのは、今は娯楽が増えすぎていると思う。自分が最低限生活できれば、インターネットや自分の趣味で楽しくなる。だから今、人を集めるのも、ひ

野辺: 20歳で組合加入して

ニコヨン

昭和20年代半ばの失業対策事業。就労して職業安定所からもらう日給が240円だった。100円札2枚と10円札が4枚という札束に由来。

今月号の紙面より

- 2面 2023年ダイジェスト
- 3面 税金講習会と記帳相談会 支部旗びらき
- 4・5面 第21回東京土建まつり
- 6面 仲間の投稿記事 杉並技能功労者表彰
- 7面 この人この名前 井荻分会旅行
- 8面 第1回杉並写真コンクール入賞作品



支部のホームページはこちら https://www.doken-suginami.org/shibu/index.html 東京土建杉並支部 検索

と苦労なんです。それでも自分の家族は大事にしなさい、と部員には言っています。

野辺: 年寄りだつてぞうだ。スキーは昔、みんな乗り合いで行った。今はない。みんなで行ったら楽しいと思う。

野辺: (人集めの)打開策はどうしたらいいのか、なかなか思いつかない。野辺さんの時代はどうでした?

野辺: 仲間意識の大切さ

野辺: やっぱ来ない人は来ない。青年部役員は一人じゃだめで、中心メンバー何人かでやらな

野辺: 大きく取り組んだこと

野辺: 大きく取り組んだこと

25、6歳で部長になった。組合に加入した時組織人数は750人くらいだったかな?ユニオンは2,000人いた。この建設労組も組織を減らしている。みんな辞めていく。仲間意識がないから。もっと仲間意識がないとダメなんだよ。杉並支部は何とか踏ん張っている。3,000人の力は凄いな。支部会館だつてある。

野辺: 今の世の中、青年部をまとめていくのは本当に難しいと思うよ。組合は、みんなの生活を守るって意識、自分は何ができるか、考えてほしいかな。支部役員も、昔は定員超過で選挙になった。意識がないとダメなんだよ。

野辺: 今、青年部に出てきている人は、みんな仲がいいんですよ。新しい人が出て来て(定着する前に)卒業しなきゃいけない。青年部の活動期間ってほんと短い。今、核と

野辺: 今、核と

野辺: 今、核と

野辺: 今、核と

野辺: 遊びでそういう風に考えなきゃいけない。ダメだダメだと頭から言つても戦争しちゃうんだから。平和のなかで考えていく方がオレはいいと思うけどな。

野辺: サバゲーに来るようになってから、役員になつてくれた部員もいるんですよ。

野辺: 今、核と

野辺: 今、核と

野辺: 今、核と

野辺: 今、核と

鎗田 登英雄 執行委員長挨拶



明けましておめでとうございます

諸先輩の
意思を引き継ぎ
ますますの
発展を

新年明けましておめでとうございます。日頃より、組合活動へのご理解ご協力を、改めて感謝申し上げます。

昨年は、国際的に平穏な生活が一変する事態が起こりました。災害もかりですが、2022年2月ロシアのウクライナへの軍事侵攻に続き、2023年10月にはイスラエルとイスラム組織ハマスとの軍事衝突が勃発、何の罪もない人の命が奪われる戦禍が続く、国家としての尊厳とは何か、平和について改めて考えさせられ、気を引き締めた年でした。

建設キャリアアップシステム(CUS)登録も資格や工事経験実績のデータ化で、技能技術者集団を証明し、ますます賃金引き上げの運動を展開してまいります。

私が組合に加入した頃は町場の職人がほとんどでしたが、今は事業所の仲間が大勢います。ご理解のうえ、署名への協力など組合活動への参加を今一度よろしくお願いいたします。

組合活動が対面で再開

新型コロナウイルスも2類相当から、季節性インフルエンザと同じ5類相当へ移行されたことにより、分会・支部での組合活動が対面によって再開されました。

昨年8月におこなわれた、組合員交流会「よみうりランドBBO」には170人も参加があり、11月におこなわれた第21回東京土建まつりでは、晴天のもと1万人の来場者を迎え入れ、盛大に開催することができました。これもひとえに組合員・家族のみなさんの協力があったからこそです。

建設業界の前進 今こそ賃金引き上げ 運動を展開しよう

物価高のなか、設計労務単価は

組合活動が再開した一年

杉並支部2023年を振り返る

1月 新春旗びらき 3年ぶりに開催

昨年1月、杉並支部は3,163人の当初人員でスタートしました。27日には3年ぶりとなる「新春旗びらき」を吉祥寺エクセルホテル東急で開催(99人)。

3月 岸本杉並 区長と懇談

13日の重税反対統一行動は、集団申告はあきらめず、役員が杉並・狹窪税務署に確定申告書を提出。

4月 第74回支部大会 新年度役員学習会

9日に代議員数を減らして第74回杉並支部大会を開催(105人)。

5月 第94回メーデー 支部屋上BBQ

1日の第94回メーデーは、代々木公園を会場に制限なしで開催(44人)。青年部製作デコレーション「進撃の巨人」は奨励賞を受賞。

7月 国民平和行進 第25回平和のつどい

1日に上半期新加入者歓迎会を開催(33人)。組合パンフによる制度説明と交流会。

9月 防災学習会 現場賃金調査

1日は関東大震災から100年。早坂都議会議員より「どうなるぞ?どうする?」と題した講演もおこなう(66人)。

10月 秋の拡大月間 支部屋上BBQ

22日に春に続き支部屋上BBQを開催(50人)。子ども向け映画上映会やじゃんけん大会で交流をはかる。

11月 被災地支援活動 第21回東京土建まつり

11日から12日にかけて福島県南相馬市被災地復興支援活動を開催(全体30人・杉並18人)。事前に刈払い機講習を受講して、桜並木の草刈りをおこなう。

12月 労働安全大会 健やかな新年を 迎える

12日に労働安全大会を開催(26人)。健やかな新年をお過ごしください。

2023年の大きな出来事

- 箱根駅伝、駒大が2年ぶり優勝
- 闇バイト強盗指示役「ルフィ」ら逮捕
- WBCで日本が14年ぶりに優勝
- 岸田首相演説会場で爆発物投げ込み
- 新型コロナウイルスが「5類」へ移行
広島でG7サミット開催
- 岐阜市陸自射撃場で小銃乱射事件、候補生を逮捕
- ビッグモーターが保険金不正請求
- 福島第一原発の処理水放出開始
西武池袋本店でストライキ
- ガソリン価格過去最高、物価高続く
ジャニーズ事務所、性加害認め謝罪
- 消費税インボイス制度スタート
イスラエルと武装組織ハマスが軍事衝突
- 阪神38年ぶり日本一
- 自民党、政治資金パーティーめぐる規制法違反容疑発覚



6月19日意見書が採択された

8月 組合員交流会 政策懇談会

27日によみうりランドBBOを開催。役員より「秋の拡大月間・火災地震共済・健診受診率向上」などを訴え(170人)。浜福分会は若い人の参加を呼びかけ46人の参加。区議会政策懇談会ではリフォーム助成・アシスト・インボイス・保険証の存続・給食費無償化などを要望。



9月29日 現場賃金調査

6月 インボイス延期陳情 23区で初採択

19日の杉並区議会本会議で、23区初となる

確定申告相談会は、コロナ感染予防対策として書類二時間かり相対して書類を約束。

24日から26日にかけて、福島県猪苗代スキー場にて開催(39人)。

30日に杉並建築協議会にて岸本区長と懇談(全体13人・杉並7人)。区は、「公契約条例」を訴え(96人)。飲食をともなう拡大出陣式を4年ぶりに開催。

23日の新年度役員学習会は四役が役員学習テキストを活用して「分会・群役員の任務」について学習。

その後熊切本部長記者次長を講師に「インボイス・拡大月間」についての講演。支部役員からは春の拡大・住宅デー・公契約条例、ビバーズなど重点の訴えも(96人)。飲食をともなう拡大出陣式を4年ぶりに開催。

28日に恒例の支部屋上BBQを3年ぶりに開催(80人)。初参加・家族連れ多数で交流。

31日には春の拡大月間感謝の夕べを開催(100人)。飲食を伴うのは3年ぶり。

春の拡大月間は168人(5.31%)で去来分・目標超過達成。

7月 国民平和行進 第25回平和のつどい

1日に上半期新加入者歓迎会を開催(33人)。組合パンフによる制度説明と交流会。

20日には、杉並区環境課より「再生エネルギー導入助成」について学習(全体50人・杉並33人)。

26日の国民平和行進には、全体45人(杉並23人)が参加。同日の第25回杉並平和のつどいには、全体45人(杉並23人)が参加。

29日から30日に奥多摩アメリカキャンプ村を会場に大キャンプ交流会を開催(56人)。

22日には、インボイス制度学習会を開催(44人)。

21日に渋谷支部と合同で田植え体験ツアーを開催(全体34人・杉並16人)。

28日に恒例の支部屋上BBQを3年ぶりに開催(80人)。初参加・家族連れ多数で交流。

7月 国民平和行進 第25回平和のつどい

1日に上半期新加入者歓迎会を開催(33人)。組合パンフによる制度説明と交流会。

20日には、杉並区環境課より「再生エネルギー導入助成」について学習(全体50人・杉並33人)。

26日の国民平和行進には、全体45人(杉並23人)が参加。同日の第25回杉並平和のつどいには、全体45人(杉並23人)が参加。

29日から30日に奥多摩アメリカキャンプ村を会場に大キャンプ交流会を開催(56人)。

22日には、インボイス制度学習会を開催(44人)。

21日に渋谷支部と合同で田植え体験ツアーを開催(全体34人・杉並16人)。

28日に恒例の支部屋上BBQを3年ぶりに開催(80人)。初参加・家族連れ多数で交流。

9月 防災学習会 現場賃金調査

1日は関東大震災から100年。早坂都議会議員より「どうなるぞ?どうする?」と題した講演もおこなう(66人)。

24日は後継者対策部と渋谷支部共催で「稲刈り&梨刈りツアー」を開催(46人)。

杉並区の中小業者に対し「光熱費高騰緊急対策助成金」が新設。東京土建の要望事項が実現。

11日に春に続き支部屋上BBQを開催(50人)。子ども向け映画上映会やじゃんけん大会で交流をはかる。

秋の拡大月間は129人(4.08%)で全分会が目撃達成。区立小中学校で給食費の無償化が実現。

22日に春に続き支部屋上BBQを開催(50人)。子ども向け映画上映会やじゃんけん大会で交流をはかる。

秋の拡大月間は129人(4.08%)で全分会が目撃達成。区立小中学校で給食費の無償化が実現。



募集

■外構造園作業スタッフ■
 グリーンスペース計画(株)
 代表 益田 陽介
 杉並区下井草3-20-11-105
 メゾンブルIII
 Tel.080-1074-4655

■電気工事士■
 【社員】
 (有)ソフン
 代表 縫村 信秋
 杉並区浜田山1-23-7
 Tel.03-3290-0122

■配管工■
 【社員】
 斎善工業(株)
 代表 齋藤 隆男
 杉並区大宮1-2-201
 Tel.03-3328-9638

■防水■
 【社員】
 (株)電防
 代表 南 忠文
 西東京市東町5-7-20
 Tel.090-8030-8822

■造園工■
 【社員】
 (株)ネクストグリーン
 代表 堀内 幸雄
 杉並区堀ノ内2-7-7-101
 Tel.03-6677-7168

■測量士・測量士補■
 【社員・アルバイト】
 リーベン開発設計(株)
 代表 鈴木 成規
 杉並区阿佐谷南3-31-14
 Tel.03-3392-4735

■塗装・防水・電気・営業■
 【社員】
 (株)しんせん
 代表 小笠原 健悦
 杉並区堀ノ内3-49-7
 横尾ビル1F
 Tel.03-3311-2196

■塩ビシート専門■
 【社員】
 (株)UPstart
 代表 相澤 秀明
 杉並区永福1-39-9-106
 Tel.03-6677-3747

■ガラス工■
 【社員】
 (株)住硝
 代表 市 大介
 杉並区高井戸西2-12-16
 水村ビル1F
 Tel.03-3331-2281

■揚重工■
 【社員】
 (株)秀英舎
 代表 飯岡 秀斗
 杉並区和田1-13-11-203
 Tel.080-1230-6083



掲載は無料です
どうぞご利用
ください

2024年杉並支部 新春旗びらき

杉並支部会館にて、初めて平日夜間に開催します。組合員本人だけでなく、家族を含め多くの仲間の参加で新年の飛躍を誓い合いましょ。

日時 1月19日(金)19時
 場所 杉並支部会館3階
 会費 1,000円(新永年組合員・今年度新加入者は無料・個別でご案内いたします)

*参加希望者は分会役員が支部までご連絡をお願いします



昨年は吉野寺東急ホテルで開催

インボイス制度導入

消費税申告の注意点

インボイス制度
 のつむぎ
 消費税の引き上げと軽減税率の導入に伴い、昨年10月1日からインボイス制度が実施されました。
 インボイス制度とは、仕入先事業者がインボイス(適格請求書)を発行し、買い手がインボイスを保存することで、適用税率や消費税額等を明らかにするための制度です。
 インボイスを発行できるのは課税業者のみとされており、免税業者はインボイスを発行することができません。そのため、買い手業者は、免税業者からの仕入れに対する仕入税額控除をおこなうことができなくなり、納付する消費税額が増加します。このような負担増を回避しようと、仕入先免税業者と取引する企業は、次のような対応が考えられます。

- ① 仕入先免税業者との取引を停止し、課税業者との取引に切り替える
- ② 仕入先免税業者に課税業者への変更とインボイス登録の要請
- ③ 仕入先免税業者に取引対価の値引きを求め、適用税率や消費税額等を明らかにする

課税業者になった方で、申請方法は、消費税申告書に2割特例を選択するかどうか、マルを消費税率を減税するかどうか、マルを引下げてインボイス制度も廃止に
 課税業者になった方で、申請方法は、消費税申告書に2割特例を選択するかどうか、マルを消費税率を減税するかどうか、マルを引下げてインボイス制度も廃止に

2割特例とは
 免税業者がインボイスに登録した場合の負担軽減を図るため、納税額を売り上げ税額の2割に軽減する措置が3年間設けられました。2割特例の対象者は、インボイス制度を適用しない事業者として

課税売上	簡易課税		一般課税(経費50%)	2割特例
	材料持ち(第三種)	手間調計(第四種)		
800万円	245,300円	327,100円	408,900円	163,500円
700万円	218,000円	290,700円	363,500円	145,300円
600万円	163,500円	218,000円	272,600円	108,900円
500万円	136,200円	181,700円	227,100円	90,800円
400万円	108,900円	145,300円	181,700円	72,600円
300万円	81,700円	108,900円	136,200円	54,400円

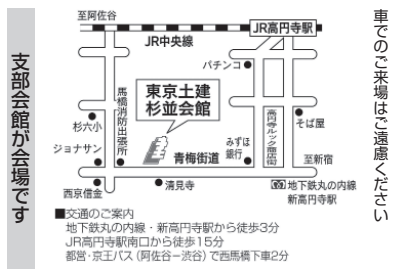
電帳法問題も組合へ相談を
 ホントは別物なのに、なぜかセットで話題の「電子帳簿法」問題も組合までご相談をお願いします。

することが、内需を拡大し、物価高騰から経済を立て直す有効な対策です。消費税率が5%になると複数税率もなくなるため、インボイス制度も廃止になります。消費税率減税とインボイス制度廃止の運動を強化していきます。

税金講習会の日程

初めて申告の方	1月23日(火)13時30分～
給与所得者	1月25日(木)19時～
一人親方 事業主	1月29日(月)19時～
	1月30日(火)19時～
	1月31日(水)19時～

*対象の日に都合がつかない方もいずれか1日にご参加ください



個別記帳相談会の日程

税金講習会を受講した方が対象です。今回も対面による相談会はおこなわず、下記の期間中に「確定申告関係書類」を支部事務所まで提出をお願いします(郵送可)。書類の点検が終わりましたら、ご連絡いたします。

書類提出期間：2月9日(金)～2月22日(木)

3.13 重税反対統一行動

集団申告で私たちの要求をアピールしよう

今年は4年ぶりに3.13重税反対統一行動が計画されています。3月13日(水)は、蚕糸の森公園に集まり、杉並税務署までデモ行進をおこない、集団申告をおこないます。

「消費税率の引き下げ」「インボイス制度の中止」「民主的税制の実現」など、私たちの要求を大きく道場にアピールしましょう。

3.13 重税反対統一行動日

日時 3月13日(水)9時45分開会(予定)
 場所 区立蚕糸の森公園 大滝前

12.12 | 支部労働安全大会 26人が参加

危険察知する能力を 労災事故を防ぐためにも習慣化

安藤聡さんのお話からポイント抜粋



危険を伴った熱視線

12月12日(火)、午後7時から支部会館で支部労働安全大会を26人の参加で開催しました。
 伊藤労対部長が司会し、鎗田執行委員長のあいさつと、喜多書記が支部の現状を報告しました。
 ※この1年で労災62件中、休業50件。過去3年では153件中120件。墜落・転落が最多。次に多いのが動作の反動での休業。
 続いて建設業労働災害防止協会セーフティエキスパートの安藤聡さんが講演。労働安全の本質を、ときに参加者に質問しながら、実際の事故事例も交えて説明しました。最後に織田PAL会長の閉会あいさつで終了しました。みなさんもこの機会に現場の安全、再点検をしてみ

- ① 対策の根幹：危険を察知する能力を養うこと
- ② 安全の基本：事業者責任と全員共有 ↓安全設備の不具合はすぐ改善を申し出る
- ③ 安全設備を無効にしたら ↓だちに復旧
- ④ 習慣化が必要：認識の5段階(知ってる↓理解してる↓共感してる↓実行してる) ↓習慣化している ↓対策を実行して いなければ事故は防げない
- ⑤ 法令遵守と安全：安全法令は事故の教訓などをといて後追いで作られる。新工法に従来の体制で挑めば新たな事故を招く危険が高いので要注意

お菓子まきに歓声が上がる



第21回東京土建まつり 地域と共に歩み 続ける



無料住宅相談に訪れた来場者

無料住宅相談

東京土建まつり会場でも専用のテントを設け、来場者の窓口を開設。10件の相談を受け、うち即対応案件は4件でした。

杉並支部まちづくりセンターは「地元の仕事は地元の建設職人へ」を合言葉に、杉並区の各地域でおこなわれる住宅デーや、杉並区役所増改築相談、支部まちづくりセンター増改築相談などで、区民の住宅に関する相談に応じてきました。

最近、屋根の修理に関する詐欺行為が区内で横行したこともあり、区民は住まいの悩みをまず区役所に相談することが多くなっています。

杉並区住宅課はそのような相談があると、区民に杉並支部を紹介するというホットラインができており、まちづくりセンター施工登録者名簿を元に工事に対応しています。



会場内にある5か所のチェックポイントを回り、ある言葉を完成させると、ハズレなしの福引を回すことができます。用意した2,000枚は今回も配り切りました。



子どもがとても喜んでる姿を見て、こちらも感動しました。

来賓あいさつ

冒頭、縫村実行委員長、鎗田執行委員長より、それぞれ組合員向けと来場者向けのあいさつがあり、10時よりまつりがスタート。杉並区住宅課からは瓜生課長、杉並社会福祉協議会からは中島地域支援課長がそれぞれ「誰もが暮らし続けることができる住環境をめざすには、区内業者との連携が欠かせない」「災害が多発している昨今、杉並で多大な被害が出た場合、まちの救助隊ビーバースのみならずとも協力体制を築いていきたい」とあいさつがありました。

メイン場の催し

メイン会場となるグラウンドには、中央に「建築体験コーナー」へとシフトチェンジ。鉄筋掛け体験やタイル工作、かなな削り体験など、

蚕糸の森会場の催し

蚕糸の森公園の大滝前では「はたらく車」が大集合。消防署「ミニ防火衣体験」煙体験、清掃事務所「ゴミばっくん」、「重機体験」、「高所作業車体験」などに子どもたちは大喜びでした。

コーナーのお菓子まき

14時40分より、ステージ上で建前が始まりました。番付けされた柱を観客に説明しながら組立てていきます。そして上棟を祝してお菓子まきをおこない、大歓声のなか土建まつりは無事に終了しました。

杉並区来賓の言葉(抜粋)



地域の方々と作り上げるまつり

杉並区住宅課 瓜生 課長

みどり豊かな住まいの都を実現していくためには、住宅の政策が欠かせない。杉並区では住宅マスタープランを今年の4月に改定した。「誰もが暮らし続けることができる住環境」をめざしている。そのためには区民や区内事業者の方々との連携が欠かせない。地域のみならずと一緒により上げていく東京土建まつりは、大変有意義なものと考えている。最後に今後のみなさまの活動の発展を祈念してあいさつとします。



福祉向上と災害時の協力体制を

杉並区社会福祉協議会 中島 地域支援課長

我が会は、地域の福祉の推進のためにさまざまな事業をおこなっている。東京土建さんとは古くからの付き合い。一人暮らしの高齢者を中心に大工ボランティアや、ちょっとした修繕に多大なご協力をいただいている。昨今、災害が多発している。杉並で万が一、大きな被害が起きた場合、災害ボランティアセンターを設置することで被災者を支援する。まちの救助隊ビーバースのみならずとも協力体制のもと、そのような危機に対して取り組めるようにしていきたい。

各分会の出し物

井荻 カナナ削り体験

西萩 スーパーボールすくい

阿佐谷 ガリガリとんぼ

富士見 タイル工作

中央 畳体験

浜福 スマホスピーカー

高和 射的

泉南 輪投げ

東京土建まつりの歴史

第1回 (2000年10月29日)

杉並支部創立50周年行事のメイン行事として開催。会場は杉並第十小学校グラウンド。事前準備では、各分会が区内すべての小学校への申し入れと学校からのチラシ配布を要請し、地元小学校と分会の信頼関係が飛躍。中央舞台(石畳)で蚕糸太鼓などのアトラクション、ふわふわトランポリン、ミニSL、分会模擬店、ジャンボ工作教室、包丁研ぎ、住宅相談など、現在の土建まつりの原型をつくる。当日はあいにくの雨模様での開催ながら3,000人の来場者を迎えた(包丁研ぎ379本・まな板削り107枚・住宅相談5件)。

第2回 (2001年9月30日)

分会対抗綱引き大会も開催。来場者6,000人。

※2002年は土建まつりではなく大運動会を開催

第4回 (2004年)

はじめて建前(ミニ上棟式)を開催

第6回 (2006年11月12日)

来場者は1万人の一大イベントに成長

第7回 (2007年)

荒天のため中止

第8回 (2008年11月16日)

第1回目以来はじめてとなるステージを設営。区民センターよりやぐらを借りて組立てる。

第9回 (2009年11月22日)

支部創立60周年行事としてヒーローショー(シンケンジャー)を誘致。

第11回 (2011年10月2日)

東日本大震災後の自粛ムードとの葛藤のなかでの開催。左官・塗装体験など「各職コーナー」をはじめて設置、建築色をいっそう打ち出す。

第12回 (2012年9月30日)

イケてる職人コンテストをはじめて開催。

第13回 (2013年9月29日)

晴天のもと1万人の来場者。

第15回 (2015年11月29日)

来場者1万2千人。重機体験を初めて設置。

第16回 (2016年10月23日)

分会B級グルメグランプリを開催。

第17回 (2017年9月24日)

来場者1万人。高所作業車体験を初めて設置。

第18回 (2018年11月11日)

パワーショベルで缶ジュースを釣り上げる重機クレーン体験、高さ10Mにもなる高所作業車体験など「建設業ならではの」まつりに進化。

第19回 (2019年11月11日)

8分会へ再編後、はじめての開催。分会対抗手ノコ王決定戦をはじめて開催。

※2020年、2021年は新型コロナウイルスの影響で開催できず

第20回 (2022年11月27日)

3年ぶりに開催。コロナ対策でキッチンカー初登場

第21回 (2023年11月19日)

晴天のもと1万人の来場者

ステージプログラム

地域ではさまざまな団体が活動しており、その活動の発表の場として、ステージで披露していただいています。



建前を青年部が担当



青年部の年間行事のなかで、メーデーデコレーションの製作と並び土建まつりでの建前披露は、大きなイベントになっています。

ジャンボ工作教室

今回の題材は「大工さんのミニ道具箱」です。トントンと木をたたき音が会場内に響き渡りました。事前に用意した部材100個は完売しました。

はたららく車大集合

今年も蚕糸の森公園大滝前を中心に、はたららく車が集合。子どもたちの真剣な表情に注目です。



分会対抗手ノコ王決定戦

初優勝 福元さん

第19回東京土建まつりから始まった「分会対抗手ノコ王決定戦」。日頃の建築職人の技術を披露する場として、定着してきています。試合は8分会の代表と青年部を加えた代表9人で1試合3人の計3回、それぞれのグループ1位が決勝戦をおこないます。手ノコで切るのは、5寸角の角材です。

第1回・第2回と優勝した水尾浩平さん(富士見・造園)の3連覇がかかった試合でその行方が注目されましたが、結果、3連覇にストップをかけたのは、福元廣美さん(中央・とび)でした。[Youtubeで切り方を学び、練習して臨んだ]と福元さん。来年以降は、分会で予選会をおこなうのも盛り上がりそうです。



参加者の笑顔があふれたミニSL



食事はキッチンカーで



毎年人気のふわふわトランポリン

- 杉並区住宅課
瓜生昌彦 住宅課課長
- 杉並区社会福祉協議会
中島篤 地域支援課長
- 衆議院議員
吉田晴美(立憲民主) 議員
- 東京都議会議員
早坂義弘(自由民主党) 議員
- 原田あきら(日本共産党) 議員
- 関口健太郎(立憲民主) 議員
- 杉並区議会議員
(立憲民主) 議員
- ひわき岳 赤坂たまよ
- 松本浩一 前山なおこ
- (日本共産党)
富田たく 酒井まさえ
- 和氣みき
- (日本維新の会)
鈴木ちづる
- 東京土建本部
佐藤豊 副執行委員長
- 熊切健二 書記次長
- 西岡貴之 専従常任中執待遇
- 東京土建西部ブロック
(渋谷支部)
小倉常良 執行委員長
- (世田谷支部)
秋元正真 執行委員長
- (中野支部)
石田憲一 副執行委員長

来場いただいたみなさん

※ 敬称略



わたしの憧れの人・尊敬する人



あなたに勇気づけられたから今のわたしがいる。誰の心にもいるであろう憧れの人・尊敬の人。仲間の「推し」をご紹介します。

石立 鉄男 さん

紺谷 三貴夫 さん
高和分会 とび



私の憧れの方は、俳優の石立鉄男さんです。昔、新宿十二社にボウリング場があって、仲間とボウリングをして外に出たときばったり遭遇、握手してもらいました。テレビで観たあのキャラクターではなく、シャイで恥ずかしそうにしていたのが印象的でした。

小栗 忠順 (上野介) さん

小野 俊英 さん
富士見分会 大工



私の尊敬する人は小栗忠順です。幕末にアメリカ視察から帰った小栗は、近代化で欧米に後れを取らないよう横須賀製鉄所の建設を幕府に進言し、当時財政難にもかかわらず建設が実現。横須賀のヴェルニー公園に胸像もあります。

HIMARI (ひまり) 吉村 妃鞠 さん

増田 博行 さん
阿佐谷分会 内装



天才ヴァイオリニスト・吉村妃鞠(ひまり)さんです(2022年からHIMARIを使用)。4才で作曲、6才でプロのオーケストラと共演。39のコンクールで一位になる。やさしくて力強い演奏。眼を閉じて聞くととても10才の少女だとは思えません。

野田 知佑 さん

巢山 太一 さん
井荻分会 造園



私の憧れの方は、カヌーイスト・作家の野田知佑(ともしけ)さんです。徳島の吉野川の川の学校と一緒にボランティア活動をしたが、孤高なところが恰好良かったです。

外尾 悦郎 さん

山下 早苗 さん
西荻分会 設計



140年前から建設の続くサグラダ・ファミリアで、現在主任彫刻家として聖堂の彫刻を続けている日本人、外尾悦郎さんは、本当にすごいと思います。民族や文化を超え異国の地でガウディの心を体現し続けている生き方に圧倒されます。

ジョヴァンニ ヴェネツィアーノ さん

田邊 淳司 さん
西荻分会 設計



私が若い頃一人旅中イタリアで偶然出会った建築修復家です。彼の仕事の信念にほれ込み26歳で仕事辞めて弟子入り。イタリアの建築・生活文化を学びました。彼がいなかったら建築家になれなかったかもしれません。

宮本 武蔵

高橋 幸三 さん
西荻分会 厨房機器修理販売



自分が35歳のとき、吉川英治著「宮本武蔵」を全巻読破し、強い心で剣法に打ち込む姿(大谷翔平に通じる?)に共感しました。もっと好きになったのは晩年。武蔵が剣法から離れ、書画や水墨画の作品を残すようになってからです。心が優しくなり、世のため人のために生きる姿に憧れます。

長瀬 剛 さん

大島 孝子 さん
井荻分会 鉄骨



小学5年生頃から曲が好きで聞き始め、ライブに何度も足を運んでいます。大人になって改めて彼の凄さを知りました。何かあるとすぐに駆けつけ曲の力で励まし、笑顔にする、安心させてくれる。画面越しではありますが、それらが伝わってきます。精力的に様々な活動をされている彼をこれからも応援したいと考えています。

杉並区技能功労者表彰式

2人の仲間が受賞

おめでとうおめでとう

昨年12月19日に杉並区役所において、杉並区技能功労者の表彰式がおこなわれ、鈴木信義さん(中央・大工)と木内雅彦さん(井荻・内装)の二人が表彰されました。
この賞は、永年同一の職業に従事して、優れた技能で後進の模範となっている方々を表彰するもので、さまざまな職種15人の表彰者が岸本杉並区長から表彰状を受け取りました。



さまざまな職種の15人の表彰者
岸本区長を囲んで
鏡田委員長は来賓として参加



中央・大工
鈴木 信義 さん

誠実な仕事で信頼を得られた

この賞をいただいたことはとても光栄です。15歳のときに伊豆(稲取)から縁故就職で杉並の成田東に出でて大工一筋70年。私の親方は弟子にやさしいひとで、そんなに苦労もなく小僧時代を過ごしました。30歳のときに親方が亡くなり、途方に迷いましたが、誠実な仕事で信頼を得られたようで、これまで、町場の個人宅の仕事が続けられてくることができました。これからも平穩無事に過ごしたいと思っています。



井荻・内装
木内 雅彦 さん

技術を伝えながら頑張りたい

組合にも諸先輩方がいる中、このような賞をいただき大変恐縮です。
私は大学を卒業後すぐに、父の工務店に入りました。棟を請け負う仕事が多かったので、様々な職種の職人さんと仕事ができただけは楽しかったし、いい経験になりました。父が亡くなったあとは、兄が経営を継ぎ、私は独立し、職人として働く形になりました。
今は知り合いのお子さんを教えています。私の知っている技術をしっかりと伝えながら、もう少し頑張りたいと思います。



自分でつくったあづま袋と一緒に

新企画に 40人参加で 大盛り上がり

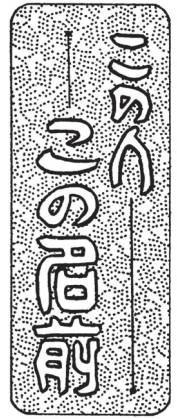
昨年12月3日に主婦の会主催の新企画「おたのしみ会」を開催しました。「あづま袋」製作では、子どもたちも自分で縫製しました。
マジック&ジャグリングは大いに盛り上がり、「子どもと一緒に参加出来てよかった」「このようなイベントをまた開催してほしい」といった声が聞かれました。

あづま袋とは

一枚の風呂敷を2箇所まっすぐに縫うだけで出来上がる「袋」の事を言います。作りはとってもシンプルです。



主婦の会主催 おたのしみ会



第361回

●今の仕事につくまで

私は杉並区浜田山の出身です。大学を卒業後、(株)中野組に就職しましたが、父親が体調を崩したため実家の工務店を継ぐことに。その2年後には父親は他界し、私は27歳で独立しました。新たな顧客をつくるのに大変苦労しましたが、高井戸にあった

●組合加入のきっかけ

父親が大工で組合に加入していたので、扶養家族で最初は加入しました。中村時雄さん(旧成浜分会)に「いろいろ勉強になるよ」と誘われ、分会税金対策部長を長く務めさせていただきました。

ミサワホームが、リフォーム部を立ち上げるから協力してくれという話があり、顧客リストを預かりました。

マラソンも仕事も走り続けていきたい

矢引 和明さん 浜福・大工

●趣味はマラソン

マラソンが趣味で、休日は大会に向けてトレーニングをおこないます。毎日朝6時から7時頃まで11kmくらい走っています。走っているときは何も考えていないのもありますが、走り終えたときは頭もスッキリし、リフレッシュできます。

昨年岐阜県でおこなわれた「ねりんピック」に出場し、10kmマラソン70歳以上の部で6位入賞することができました。ねりんピックは毎年おこなわれ、60歳以上の選手が1万人以上も参加するスポーツ競技です。

●これからの抱負

体力が続く限り仕事は続けていきたいと思っています。そのために走り続けていきたいです。

空気の流動が必要なのが分かり、穴あきボードを使用する工法に変更しました。いろんな人たちとの出会いがあったからこそ、今があると思っています。

●仕事のやりがい

やはりお施主さんに満足していただくことが一番です。



6位入賞おめでとうございます

【取材・双木 淳志】

11.26 井荻分会旅行 初参加者を含め36名で開催

秋の長瀬を大満喫

11月26日(日)に井荻分会は36名の参加でバスレクを開催。11月末のため寒さが予想されましたが、日中は暑いくらいの陽気になりました。



笑顔あふれる旅行でした

長瀬では、紅く染まった木々を眺めながら川下りを体験、自然と触れ合い美味しい空気をいっぱい吸ってしまいました。その後、小松沢レジャー農園へ移動しました。

レジャー農園では餅つきにチャレンジ。参加した大人も子どもも一生懸命に餅をつき、その場でつくったの餅を味わいました。昼食はBQでおなか一杯になり、しいたけ狩りも楽しみ、大満喫のバス旅行でした。

その他、酒蔵見学や花園フオレストでお土産を購入して帰路につきました。多くの子ども達の笑顔あふれる旅行となりました。

共済給付

12月慶弔傷病見舞金支給 53件

どけん共済は組合員が病気のときや介護のとき、結婚や出産、仲間や家族が亡くなった時などに給付されるみんなの助け合い制度です。これまでに多くの仲間が給付を受けています。(敬称略)

■おめでとう

【結婚】 中村 典翔(浜 福)

【出産】 石原 寛久(阿佐谷)

山口 千穂(泉 南)

小川 翼(企 業)

【新入学】 資格取得 1件 35件

【お大事に】 傷病見舞金 加藤 富雄(井 荻)

【お悔やみ】 申しあげます 松崎 竹雄(中 央)

飯田 忠二(泉 南)

【家族死亡】 2件

齋藤 知子(井 荻)

村崎 卓也(富士見)

依田 勝利(阿佐谷)

荻野 晴男(泉 南)

ほか4件



空と星のコンテストが人気

大歓声の餅つき

事業所交流会 ゴルフコンペ結果



11人が参加しました

新たな仕事のつながりも

11月29日、岡部チサンカントリークラブ(岡部コース)において11人の参加で開催しました。優勝は大戸 龍雄さん(阿佐谷分会・建築設計)。おめでとうございます。

夕方5時から、支部会館3階を会場に表彰式&名刺交換会を開催、お互いの健闘を称え合いました。名刺交換もおこない、新たな仕事のつながりも広がりました。

第1回 杉並写真コンクール 入選作品

はじめての企画となった「第1回杉並写真コンクール」は、昨年12月7日までを応募締切として「組合活動」「スナップ写真」「風景」「アツい!」の4部門に29人の組合員・家族から合計75点の応募がありました。応募いただいたみなさん、ありがとうございました。

組合活動の部



特選
キャンプでスイカ割り
村松 澄さん(直風分会)
後ろの子たちの表情まで写っているのはいいですね。降り下ろした瞬間の写真があるのもっと良かったでしょう。



準特選
もう黙ってられるか! 栗林 弘行さん(中央分会)
カメラポジションが良いです。自分達だけではなく、他組合含めて大勢の仲間の連帯を感じさせるアングルです。



入選
青柳さん 牛に变身
山下 早苗さん(西荻分会)
今から風船を膨らまそうとして、それを待つ子どもたちの関係性が良いです。

スナップの部



特選
いまでは
青木 隆之さん(阿佐谷分会)
意味深なタイトルですが、子ども達も成長して頼もしくなったということでしょうか。どこの景色も考えさせられます。



準特選
ティッシュ出して 楽しそう!
村松 直美さん(西荻分会)
子どもの楽しい、自慢したいという表情が顔に良く出ています。どの親も経験がある楽しい写真です。



入選
母98歳と愛犬1歳
山口 裕子さん(高和分会)
表情が固まっておらず優しい感じがよく出ています。



入選
我が家の愛犬
遠藤 義男さん(高和分会)
柴犬(猟犬)独特の集中している表情が良いです。

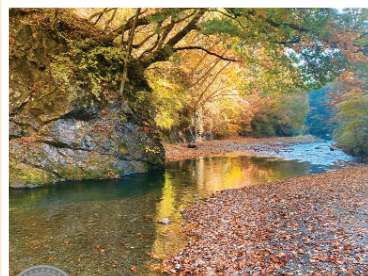


入選
やった! 釣れた
樋口 三春さん(浜福分会)
とても良い表情、そして動作がある写真です。

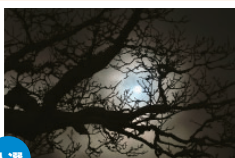
風景の部



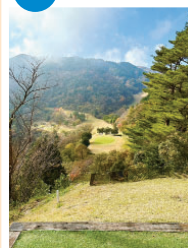
特選
二人占めの花火大会
並木 碧鷲さん(浜福分会)
構図がすごく良いです。周りの人を省いて2人だけの瞬間を切り取っています。



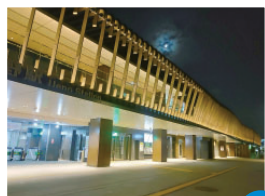
準特選
守りたい自然
長島 和美さん(浜福分会)
光と影のコントラストの中に豊かな自然があります。それを守りたい意図が伝わってきます。



入選
太陽がさす雪山で
喜多 正之さん(直風分会)
モノトーン調の作品。画面構成がとてもうまいです。



秋
青木 久也さん(阿佐谷分会)
高台からみた風景。全体のバランスがとても良いです。



入選
上野駅公園口 完成
菅原 秀実さん(高和分会)
誰もいない駅。工事中でしょうか。月の配置がこの写真の中でいきています。

アツいの部



特選
ゆかいな仲間たち
山根 匡枝さん(富士見分会)
お父さんの姿勢そのものに暑い感じが出ています。



準特選
徹夜続いても、笑顔は絶やさない!
松田 栄一さん(井荻分会)
狭い場所での作業風景。ライトの光がおそろい暑さを感じさせます。

審査を終えて



今回はじめて写真コンクールの審査を担当しました。現在はカメラやスマホが発達しています。凝った作品をつくろうと思わずどんどんシャッターを切ってほしいです。次回の応募に期待します。
審査員:写真家 尾辻 弥寿雄さん